2015 年 3 月 26 日

報 道 各 位

日本たばこ産業株式会社
ＩＲ広報部

「たばこと塩の博物館」リニューアル・オープンに関するお知らせ

当社の運営する「たばこと塩の博物館」が渋谷の地から墨田区横川へと移転し、この 4 月 25 日に装いも新たにリニューアル・オープンします。

つきましては本日、同博物館が本件に関わるプレスリリースを実施しましたので、お知らせします。

詳細は添付のとおりです。

本件に関するお問い合わせ先
日本たばこ産業株式会社　ＩＲ広報部
TEL : 03-5572-4291　FAX : 03-5572-1441

News Release

たばこと塩の博物館

２０１５年３月

「たばこ」と「塩」の歴史と文化を幅広く紹介する専門博物館

「たばこと塩の博物館」が墨田区横川で 2015年4月25日（土）リニューアルオープン！！ スペースが従来の2倍になり、常設展示室をはじめ諸施設が充実

たばこと塩の博物館は、35 年間にわたって、渋谷・公園通りで開館してまいりましたが、移転・リニューアルのため、2013 年 9 月 2 日から休館しておりました。このたび、2015 年 4 月 25 日（土）、墨田区横川の地にて装いも新たに開館します。

墨田のたばこと塩の博物館は、渋谷の館と比べてスペースがおよそ 2 倍になり、常設展示室、特別展示室だけでなく、ワークショップルームや図書閲覧室、多目的スペースなど、新たな施設も充実しました。

常設展示では、開館以来蓄積してきた研究成果に基づいた「たばこ」と「塩」の幅広い情報を、拡大したスペースを生かし、内容・展示資料点数ともにパワーアップしてご紹介しています。

「たばこ」 の常設展示室は、「たばこ文化の発生と伝播」「世界のたばこ文化」「江戸時代のたばこ文化」「近現代のたばこ文化」の4コーナーに分かれ、それぞれ特徴的な展示をしています。江戸時代の本所（現在の墨田区）界隈を想定したたばこ屋・たばこ入れ屋のジオラマや、看板・ポスター・パッケージの実物資料とデジタルコンテンツを組み合わせ、たばこを取り巻く時代背景やエピソードなどを絡めながら、近代から現代にいたる日本のたばこの産業史を紹介する「メディアウォール」など、みどころがいっぱいです。なかでも、現存するたばこにまつわる最古の資料「たばこを吸う神」のレリーフがある、メキシコ・パレンケ遺跡「十字の神殿」の一部を、現地の職人の手により再現したコーナーは圧巻です。

一方、「塩」の常設展示室は、「世界の塩資源」「日本の塩づくり」「塩のサイエンス」の3つのコーナーに分かれています。石川県能登半島で50年近く塩作りに使われてきた釜屋を移築した再現展示や、塩の性質・用途・製法などを科学の面から紹介するコーナーが新たに加わりました。サイエンスコーナーのなかでも「いろいろ塩図鑑」は、市販されている塩の原料や産地を最新の映像システムで紹介し、楽しめる展示になっています。さらに、世界遺産でもあるポーランド・ヴィエリチカ岩塩坑で坑夫たちに信仰されている「聖キンガ像」を、特別許可を得て現地の岩塩を使用し、現地の職人が再現制作した岩塩彫刻は、リニューアルの目玉のひとつです。

今後、特別展（秋以降を予定）や講演会・講座・映画上映会など多彩なイベントも開催する予定です。新しくなった「たばこと塩の博物館」にどうぞご期待ください。

詳しい内容については、

☆「たばこと塩の博物館」の概要　⇨　page2

☆ 常設展示室のご紹介「たばこの展示室」　⇨　page3

「塩の展示室」　⇨　page4

☆その他施設のご紹介　⇨　page5　　をご覧下さい！



墨田区横川でリニューアルオープンする
「たばこと塩の博物館」外観

Photo1

たばこと塩の博物館概要

【名称（日本語)】たばこと塩の博物館
【名称（英語)】TOBACCO & SALT MUSEUM
【延べ床面積】6,091.27 ㎡　5 階建て建物
【リニューアルオープン日】2015 年 4 月 25 日（土）
【開館時間】午前10時ー午後6時（入館は午後5時30分まで）
【休館日】月曜日（祝日にあたる場合は開館し、直後の平日を休館）
【所在地】〒130-0003 東京都墨田区横川 1-16-3
【電話】03-3622-8801　【FAX】03-3622-8807
【URL】http://www.jti.co.jp/Culture/museum/
【入館料】大人・大学生　100円（50円）　小・中・高校生 50円（20円）
※　（　）内は20名以上の団体料金　※65歳以上は団体料金を適用（要証明書）
※ 身障者は、付き添いの方1名まで入館料無料（要証明書）
※ 特別展は別料金を設定予定

【交通・アクセス】





【お問い合わせ先／広報担当】

たばこと塩の博物館　袋地（ほろち）由美子
E-mail：horochi@tsmuseum.jp
TEL ：（03）3622-8801　FAX ：（03）3622-8807

常設展示室「たばこの歴史と文化」：実物資料はもちろん、映像資料が充実！
目玉は、メキシコ・パレンケ遺跡「十字の神殿」の再現

展示室入口

Photo2



「たばこ文化の発生と伝播」コーナー

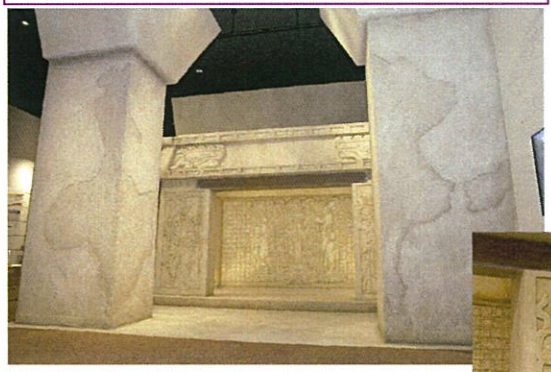


Photo3

Photo4



メキシコ・パレンケ遺跡「十字の神殿」の一部を再現。神殿の右側の柱に「たばこを吸う神」のレリーフがあります。現地の職人の手で再現され、日本にやってきました。

「世界のたばこ文化」コーナー

Photo5



当館が所蔵するコレクションの中から、「ヨーロッパ」「アメリカ」「アジア」など、地域ごとに特徴のある喫煙具を多数ご紹介します。

「江戸時代のたばこ文化」コーナー

Photo6





Photo7

江戸時代の本所（現在の墨田区）界隈のたばこ屋を再現。当時のたばこ屋の生業をジオラマと映像で紹介します。また、隣には、たばこ入れ屋の再現展示もあり、江戸の雰囲気を楽しめます。

「近現代のたばこ文化」コーナー



Photo8



Photo9

明治から現代までの日本のたばこの歴史を俯瞰できるコーナー。たばこ製造機械や、看板、パッケージといった実物資料の展示はもちろん、時代背景、広告、エピソードなど、時代ごとにたばこを取り巻く情報をご紹介する複合システム「メディアウォール」が組み込まれています。

常設展示室「塩の世界」：ジオラマのほか、体験型装置で塩を調べられる！
目玉は、ヴィエリチカ岩塩坑で信仰されている「聖キンガ像」の再現展示

展示室入口



Photo10

展示室導入部では、人間やほかの動物の生命にとって欠かせない塩について、映像などでご紹介しています。

世界の塩資源コーナー

Photo11



Photo12

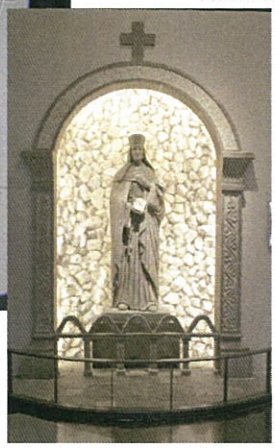


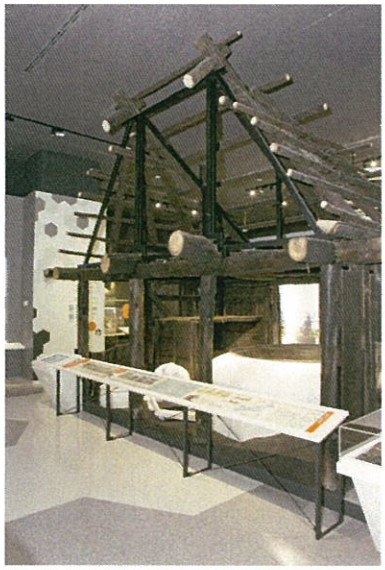


Photo13

「岩塩」「湖塩」「海塩」といった塩を種類ごとに標本や映像でご紹介するコーナー。「Photo12」は、世界遺産でもあるポーランド・ヴィエリチカ岩塩坑で坑夫たちに信仰されている「聖キンガ像」を、ヴィエリチカの岩塩を使って、現地の職人が制作した岩塩彫刻。背景も、土台も床も、すべて岩塩です。

日本の塩づくり

Photo14



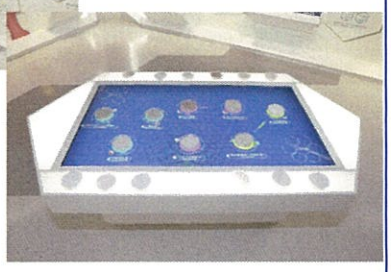
「海水を煮詰めて塩をつくる」日本の塩づくりを紹介するコーナー。写真は、石川県能登半島で約 50 年の間、実際に使用されていた「釜屋」を移築・再現したものです。

塩のサイエンス

Photo15



Photo16



塩が「食べ物以外でどのように使われているのか」「私たちの身体の中でどのようなはたらきをしているのか」など、科学の面から塩を考えるコーナー。右の機械は、塩の原料や産地、製法、種類などが一目でわかり、遊びながら塩を学べる「いろいろ塩図鑑」。

その他：さまざまな機能が加わって充実した施設

1階

総合案内・エントランスホール



Photo17

ミュージアムショップ



Photo18

書籍やオリジナルグッズなど、さまざまな商品を取り揃えています。

ワークショップルーム



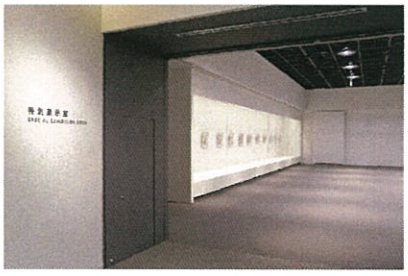
Photo19

今後、「塩の実験室」など、さまざまなイベントを開催する予定です。

2階

特別展示室

Photo20



当館所蔵資料をはじめ、たばこ、塩に関わるさまざまなテーマで特別展を開催。第1回目の特別展は、今秋を予定しています。

3階

コレクションギャラリー



Photo21

当館所蔵資料をご紹介するスペース。リニューアルオープンにあたっては、「おめでたい」デザインの灰皿を選びました。

視聴覚ホール



Photo22

講演会、講座、映画上映会など、さまざまなイベントを開催する予定です。

4階

図書閲覧室

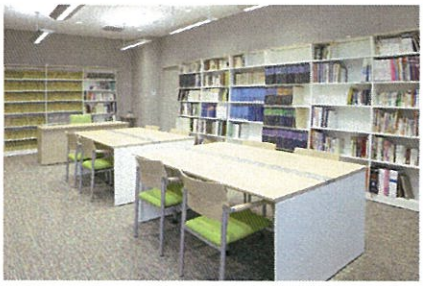


Photo23

当館所蔵の図書資料を閲覧していただけるスペースです。ビデオライブラリーもご利用いただけます。

5階

多目的スペース



Photo24

飲食もできる休憩スペースです。

画像データの用意がございます。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号（1～24）を広報担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：畏地（ほろち）　03-3622-8801　e-mail：horochi@tsmuseum.jp